

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公開番号】特開2016-201744(P2016-201744A)

【公開日】平成28年12月1日 (2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2015-82059(P2015-82059)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 13/00 5 4 7 V

H 0 4 N 1/32 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月2日 (2018.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像処理装置と通信する通信装置であって、

宛先情報と当該宛先情報に対応する宛先名称を記憶する記憶手段と、

前記画像処理装置から前記画像処理装置が有する送信機能に関する画面を表示するための W e b コンテンツを取得する第 1 の取得手段と、

前記第 1 の取得手段で取得された W e b コンテンツに基づき送信機能に関する画面を表示する表示手段と、

前記第 1 の取得手段で取得された W e b コンテンツに前記通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれている場合、当該スクリプトの実行に従って前記記憶手段の宛先情報と宛先名称を取得する第 2 の取得手段と、を有し、

前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けたことに従って、前記表示手段は、前記第 2 の取得手段によって取得した宛先情報と宛先名称に基づいて前記送信機能で使用する宛先を設定するための表示アイテムを表示することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記表示アイテムを介した前記送信機能で使用する宛先の設定を受け付けた後に、当該設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信する送信手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記画面には送信実行のための第 2 の表示アイテムが含まれており、

前記送信手段は、前記宛先の設定を受け付けた後に前記第 2 の表示アイテムが選択されたことに従って、前記設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信することを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記画面には更にカラーモードを設定するための第3の表示アイテムが含まれており、
前記送信手段は、前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先の設定を受け付けた後に、前記設定された宛先と、カラーモードの設定を前記画像処理装置に対して送信することを特徴とする請求項2又は3に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記設定された宛先は、ファクシミリの宛先であり、
前記カラーモードの設定は、ファクシミリ送信で使用するカラーモードの設定であることを特徴とする請求項4に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記通信装置は、Webブラウザコンポーネントを有しており、
前記Webブラウザコンポーネントは、前記Webコンテンツに基づき送信機能に関する画面を表示する前記表示手段、及び前記設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信する前記送信手段として機能することを特徴とする請求項2乃至5のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記スクリプトはJAVASCRIPT（登録商標）であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記第1の取得手段で取得されたWebコンテンツに前記通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれていない場合であって、前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けた場合、前記表示手段は、前記送信機能で使用する宛先をユーザに直接入力させるための画面を表示することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の通信装置。

【請求項 9】

宛先情報と当該宛先情報に対応する宛先名称を記憶する記憶手段を有する通信装置のコンピュータに、

画像処理装置から当該画像処理装置が有する送信機能に関する画面を表示するためのWebコンテンツを取得する第1の取得工程と、

前記第1の取得工程で取得されたWebコンテンツに基づき送信機能に関する画面を前記通信装置の表示部上に表示する第1の表示制御工程と、

前記第1の取得工程で取得されたWebコンテンツに前記通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれている場合、当該スクリプトの実行に従って前記記憶手段に記憶された宛先情報と宛先名称を取得する第2の取得工程と、

前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けたことに従って、前記第2の取得工程にて取得した宛先情報と宛先名称に基づいて前記送信機能で使用する宛先を設定するための表示アイテムを前記表示部上に表示する第2の表示制御工程と、

を実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

前記コンピュータに、

前記表示アイテムを介した前記送信機能で使用する宛先の設定を受け付けた後に、当該設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信する送信工程を更に実行させることを特徴とする請求項9に記載のプログラム。

【請求項 11】

前記画面には送信実行のための第2の表示アイテムが含まれており、

前記送信工程において、前記宛先の設定を受け付けた後に前記第2の表示アイテムが選択されたことに従って、前記設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信することを特徴とする請求項10に記載のプログラム。

【請求項 12】

前記画面には更にカラーモードを設定するための第3の表示アイテムが含まれており、
前記送信工程において、前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先の設定を受け付けた後に、前記設定された宛先と、カラーモードの設定が前記画像処理装置に対して送信されることを特徴とする請求項10又は11に記載のプログラム。

【請求項13】

前記設定された宛先は、ファクシミリの宛先であり、
前記カラーモードの設定は、ファクシミリ送信で使用するカラーモードの設定であることを特徴とする請求項12に記載のプログラム。

【請求項14】

前記通信装置は、Webブラウザコンポーネントを有しており、
前記Webブラウザコンポーネントは、前記Webコンテンツに基づき送信機能に関する画面を表示する前記第1の表示制御工程、前記第2の表示制御工程、及び前記設定された宛先を前記画像処理装置に対して送信する送信工程を実行することを特徴とする請求項10乃至13のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項15】

前記スクリプトはJAVASCRIPT（登録商標）であることを特徴とする請求項9乃至14のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項16】

前記コンピュータに、
前記第1の取得工程にて取得されたWebコンテンツに前記通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれていない場合であって、前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けた場合、前記送信機能で使用する宛先をユーザに直接入力させるための画面を表示させる第3の表示制御工程を更に実行させることを特徴とする請求項9乃至15のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項17】

宛先情報と当該宛先情報に対応する宛先名称を記憶する記憶手段を有する通信装置の制御方法であって、

画像処理装置から当該画像処理装置が有する送信機能に関する画面を表示するためのWebコンテンツを取得する第1の取得工程と、

前記第1の取得工程で取得されたWebコンテンツに基づき送信機能に関する画面を前記通信装置の表示部上に表示する第1の表示制御工程と、

前記第1の取得工程で取得されたWebコンテンツに通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれている場合、当該スクリプトの実行に従って前記記憶手段に記憶された宛先情報と宛先名称を取得する第2の取得工程と、

前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けたことに従って、前記第2の取得工程にて取得した宛先情報と宛先名称に基づいて前記送信機能で使用する宛先を設定するための表示アイテムを前記表示部上に表示する第2の表示制御工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置およびその制御方法、並びにプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、通信装置およびその制御方法、並びにプログラムに関する。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本願発明は、この点に着目し、複合機の Web サーバーから提供された Web コンテンツを介してユーザー端末が保有する宛先情報を利用するための制御方法を提供する。その上で、クライアント上の Web ブラウザで、送信先として宛先情報を容易に選択可能な制御方法を提供する。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記課題を解決するために本願発明は以下の構成を有する。すなわち、画像処理装置と通信する通信装置であって、宛先情報と当該宛先情報に対応する宛先名称を記憶する記憶手段と、前記画像処理装置から前記画像処理装置が有する送信機能に関する画面を表示するための Web コンテンツを取得する第 1 の取得手段と、前記第 1 の取得手段で取得された Web コンテンツに基づき送信機能に関する画面を表示する表示手段と、前記第 1 の取得手段で取得された Web コンテンツに前記通信装置に記憶された宛先情報を取得するスクリプトが含まれている場合、当該スクリプトの実行に従って前記記憶手段の宛先情報と宛先名称を取得する第 2 の取得手段と、を有し、前記画面を介して前記送信機能で使用する宛先を設定するユーザ操作を受け付けたことに従って、前記表示手段は、前記第 2 の取得手段によって取得した宛先情報と宛先名称に基づいて前記送信機能で使用する宛先を設定するための表示アイテムを表示する。